

Japan Academy for the Prevention of Elder Abuse
日本高齢者虐待防止学会

より多くの実践者の皆さまの経験や知恵を集めて、
高齢者虐待を防止していきましょう。

入会申し込み

日本高齢者虐待防止学会ホームページ
申し込み書は、ホームページからダウンロードできます。
www.japea.jp

連絡先

日本高齢者虐待防止学会事務センター
入会や会費納入、住所変更についての問合せ先
〒338-0812 埼玉県さいたま市桜区神田313-1 B105
(NPO法人シルバー総合研究所 さいたま分室内)
電話 048-711-7144
FAX 050-3737-4902
E-mail info-japea@silver-soken.com

日本高齢者虐待防止学会
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部社会福祉学科 山田祐子研究室内
電話 & FAX 03-5317-8987
E-mail ryuno@chs.nihon-u.ac.jp

入会案内

高齢者虐待防止についての研究をする方、実践活動に携わる方、研究・実践に関心をもつ方、高齢者虐待防止にかかわる政策・行政、権利擁護に関連する分野の実践者や研究者の方々のご参加をお待ちしております。

年会費

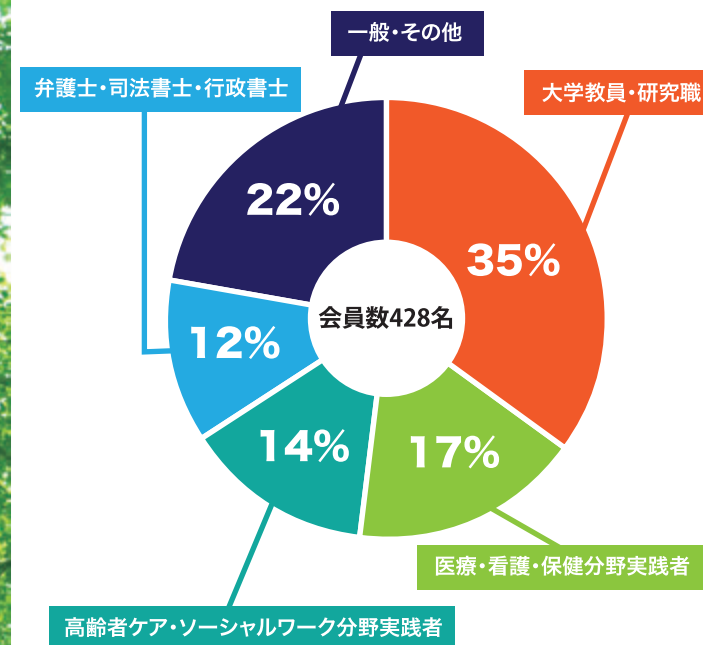
正会員 8,000円
賛助会員 1口 20,000円
学生会員 4,000円

*賛助会員は、ご希望の口数にてご加入いただけます。

会員特典

- 学会誌「高齢者虐待防止研究」の送付
- ニューズレターの配信
- 学術大会での発表、学会誌への投稿
- 学術大会等、学会主催イベント参加費の割引

会員データ



www.japea.jp

2016年3月31日現在

目的

日本高齢者虐待防止学会は、高齢者虐待防止に関する学際的及び実践的活動の研究・教育の発展を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的としています。

理事長挨拶

人は皆、加齢とともに心身の脆弱性(vulnerable)を伴うようになり、科学技術の進展により高齢者が長年培った技術や経験が評価されず、社会的、法的地位が軽んじられる結果として、高齢者の終の棲家としての自宅や施設での虐待があとを絶ちません。

しかし、人としての尊厳は如何なる場面でも、如何なる時点でも保障されなければならず、常に自分らしく生き続けることができるよう、社会の側が取り組みを進めていく必要があります。

当学会は、平成15年、高齢者虐待防止法の制定に向けて、高齢者介護の現場で奮闘する保健師、医師、介護職ほか専門職、研究者、法律家、そして行政担当者らが、それぞれの領域から叡智を結集して、高齢者に対する虐待を防止するために立ち上げられた学際的な学会です。

皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

理事長 池田直樹

活動

1. 学会誌「高齢者虐待防止研究」の発刊

年1回発行。研究報告・実践活動など、現場の第一線で活躍されている方の投稿を掲載しています。

特集テーマ(直近)

第10巻第1号(平成26年3月) 高齢者虐待防止研究のあゆみと支援の現状

第11巻第1号(平成27年3月) 認知症高齢者の人権を守る

第12巻第1号(平成28年3月) 高齢者虐待防止法改正の意義を改めて考える

研究テーマ

- 高齢者の人権擁護
- 認知症と地域づくり・まちづくり
- 高齢者虐待防止法
- 高齢者虐待の発見
- 虐待防止ネットワーク
- 医療依存度の高い高齢者への虐待予防
- セルフ・ネグレクト など

2. 学術大会

毎年メインテーマを設定し、全国各地で年1回学術大会を開催しています。

大会テーマ(直近)

第12回京都大会(平成27年7月)

テーマ 事業者による高齢者虐待の防止

場 所 京都ノートルダム女子大学

大会長 池田直樹(上本町総合法律事務所)

第13回横浜大会(平成28年7月)

テーマ 高齢者虐待防止に向けた新たな挑戦

場 所 横浜市立大学金沢八景キャンパス

大会長 松下年子(横浜市立大学)

3. 市民講座

市民講座テーマ(直近)

第12回 京都大会(平成27年7月)

テーマ 高齢者の居場所探しー取り返しの付かない失敗をする前に

第13回 横浜大会(平成28年7月)

テーマ 高齢者虐待と認知症

高齢者虐待とは

- 身体的虐待
- 心理的虐待
- 性的虐待
- 経済的虐待
- 介護等放棄

STOP!

組織

理事・評議員

法律、看護、医療、社会福祉、民法・成年後見、社会保障、地域精神保健等、多岐に渡る分野の専門家により構成されています。

理 事 13名(理事長1名、副理事長2名、事務局長1名)

監 事 2名

顧問、特別・功労会員 8名

評議員 20名

理事長

平成15年～(初代) 田中 荘司(日本大学)

平成18年～ 高崎 絹子(東京医科歯科大学大学院)

平成21年～ 高崎 絹子(放送大学)

平成24年～ 多々良 紀夫(淑徳大学大学院)

平成24年5月～ 池田 直樹(上本町総合法律事務所)

委員会

理事・評議員を中心に、委員会活動を行っています。

- 法制度推進委員会
- 研究活動・国際活動推進委員会
- 編集委員会
- 組織拡大委員会
- 広報委員会
- 会計委員会
- セルフ・ネグレクト特定委員会
- 定義問題特定委員会

学会設立と高齢者虐待防止法の成立経過

平成6年頃～

高齢者虐待に関する実態調査
(田中荘司、高崎絹子、津村智恵子ら)

平成11年

身体拘束禁止を規定(厚生省)

平成12年

介護保険法の施行、身体拘束の原則禁止

平成14年

高崎、田中、多々良、金子らにより学会設立準備はじまる
南野智恵子参議院議員の呼びかけで自民党成年虐待防止に関する勉強会発足

平成15年

学会設立・記念国際シンポジウム開催(日本大学)
厚生労働省全国調査実施

平成16年

公明党、民主党高齢者虐待防止プロジェクトの発足
第1回日本高齢者虐待防止学会東京大会(大会長 田中荘司)

平成17年

高齢者虐待問題議員連盟発足
日本高齢者虐待防止学会より、厚生労働大臣他宛て
法律制定に対する「要望書」を提出
衆参両議院全会一致で法案可決

平成18年

高齢者虐待防止法の施行
学会誌「高齢者虐待防止研究」創刊

平成25年

「創立10周年記念誌」発刊



第11回横浜大会より